りょうかわ

学校だより　令和4年6月17日　発行　第4号　新潟市立両川小学校

子どもに「確かな学力」を

校長　新田見　誠

私は，はじめて１年生を担任したとき，国語の授業で悩んだことがあります。それは，子どもたちに物語の音読をさせたときです。ひらがなを覚えたばかりの１年生に，教科書に載っていた物語を読ませようとしたところ,難しいと感じる子どもが多くいました。私は悩んだ結果，次のようなステップで子どもたちに音読させることにしました。

① 物語を，１文ずつ先生と子どもとで交代しながら読む。
② 話のまとまりごとに，先生と子どもとで交代しながら読む。
（登場人物Ａが話したところは子どもが読み，登場人物Ｂは先生が読む）
③ 物語全部を，子どもが一人で読む。
④ 物語全部を，子どもが一人で読み，おもしろかったところと理由をノートに書く。
⑤ 物語を読む前に，子どもに問題を出しておき，答えを探すために読む。

上記のことは，特別なことは何もありません。けれども，子どもが何かを習得するときに，少しずつ少しずつステップをふんで，階段をのぼるように力をつけることが大切だと学びました。

高学年になると，物語や説明文の文字数は多くなります。読み取る情報が多くなり，子どもは整理できないと内容が分からなくなるときがあります。内容を理解したり，問題に答えたりするときには，読み取った中から「必要な情報を選ぶ力」が大切になってきます。ときには，不要な情報を捨てて読むということにもつながります。

今年度も，子どもの学力を高めるため，１年生から６年生まで，どんなステップをふめばよいのかを教職員がアイデアを出し合い，全校体制で取り組んでいきます。

運動会の応援を，ありがとうございました

５月２８日（土）は，運動会でした。多くの保護者の皆様,地域の皆様からお越しいただきました。子どもたちへの，あたたかい応援をありがとうございました。子どもたちは，どの種目も一生懸命に取り組み，全力で走る姿が見られました。また，応援賞は，赤組も白組も同点となり，どちらも応援賞に輝きました。

応援については，子どもたちが運動会当日まで，毎日，練習を重ねていました。そして，どちらの応援団も全校をリードして，最後まで粘り強く努力していました。赤組も白組もすばらしい応援でした。

応援賞は,同点というより,どちらも勝利した結果です。また，運動会が終わった後，赤組・白組というチームを超えて，応援団同士でお互いを讃え合う姿がありました。すばらしい子どもたちだと実感しました。

運動会の数日後，地域の方や卒業生から，運動会での子どもたちの頑張りについて，お手紙を何通かいただきました。とてもうれしく，ありがたく思いました。
今回の運動会でのよい経験を，今後の学校生活に活かしてほしいと思います。

ステキな「読み聞かせの時間」

今年度，初めての読み聞かせの時間でした。ボランティアの方が来校してくださり，子どもたちに本を読んでくださいました。
今回は，１年生に向けて，『でんしゃにのって』と『はらぺこあおむし』の２冊の本です。子どもたちは，ボランティアの方のお話に聞き入り，本の世界に入りこんでいました。終わった後，子どもたちから「楽しかった」「また読んでほしい」という声が聞こえてきました。とっても，ステキな読み聞かせの時間でした。読み聞かせの時間は１年間で１６回行う予定です。

＊ 学校での子どもたちの様子をホームページで紹介しています。
この学校便りの表面のタイトル横にある QR コードからも入ることができます。